

事業計画書

ABC株式会社

2025年10月





代表取締役社長
山田 太郎

メッキ加工のプロ集団である我が社は
できない、とは言いません

近年、建築構造物は、より大型かつ複雑化し、また東日本大震災発生による耐震補強化に伴い、メッキ防錆加工も強度、美観などが高水準化しています。こうした顧客ニーズに応えるため、我が社は伝統の匠の技術を礎に、常に先進的技術の開発に挑戦し、伝統と革新を融合させた高水準のメッキを施し、長らく顧客満足度の高い評価を得ております。

当社は、企業ビジョンである“安い”“きれい”“早い”に加え、特殊構造物で他社が敬遠するような品物でも“できないとは言わない”のが最大の特徴であり、強みです。

現在、我が社は困難な状況に直面しておりますが、我が社を必要としてくださるお客様のため、決してできないとは言いません。これからもメッキ職人の誇りにかけて、より良い品質の防錆メッキ加工を行い、より一層社会に貢献できますよう鋭意努力する所存ですので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

目次

1. 事業環境	P.04
2. 企業概要	P.08
3. 課題	P.16
4. 再生計画	P.21
Appendix. 財務計画詳細	P.34

目次

1. 事業環境	P.04
2. 企業概要	P.08
3. 課題	P.16
4. 再生計画	P.21
Appendix. 財務計画詳細	P.34

1-1 亜鉛メッキ加工の性能と用途

溶融亜鉛メッキの主な性能は、鉄鋼製品の表面に施することで長期にわたり鉄鋼を腐食から守り続けることであり、幅広い分野の製品に施工されている。

性能

1 密着性・均一性の確保

鉄素地と亜鉛の合金科学反応により密着しているため、過激な衝撃や摩擦以外に剥離することはほぼない。また、複雑な構造物の内面コーナーなど、目に見えない部分まで、内外共に均一な保護皮膜が得られる。

2 耐食性の向上

鉄鋼製品の表面に亜鉛の保護皮膜を作り、電気化学作用による優れた防錆効果が得られるため、大気中や海水中、土壤中においても優れた耐食性能を発揮する。

3 経済性の向上

長期間にわたって防食効果があり補足的な防食手段はほぼない。理論的には、表面の亜鉛メッキ層が電気化学作用により完全に消耗されつくすまで鉄鋼製品を錆から守るため、他の防錆法と比較して最も経済的。

主な用途

電力・通信	建築	土木	鉄道・運輸	船舶・漁業	農業・畜産	環境・衛星
<ul style="list-style-type: none"> 鉄塔鉄構類 鋼管柱 架台 ケース ポール アンテナ 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄骨構造物 工場建屋 屋外ヤード 架台 コンクリート補強材 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁 陸橋 ガードレール ハンドレール フェンス 道路標識 	<ul style="list-style-type: none"> 架線金物 道床材料 フェンス 鉄橋 鋼製貨車 客車用水槽 	<ul style="list-style-type: none"> 外板 曲直管 マスト ベンチレー ター ダクト 	<ul style="list-style-type: none"> 畜舎 鶏舎 養蚕ハウス 温室 貯蔵庫 サイロ 	<ul style="list-style-type: none"> くず箱 バケツ ボイラー 風呂釜 温水器 冷暖房施設

1-2 亜鉛メッキ市場の動向

国土交通省の国土強靭化計画による耐震補強やインフラの長寿命化、建築基準法の改正による屋外階段設置義務化等により、亜鉛メッキ加工の需要は増加している。

国土交通省「国土強靭化計画」・「国土交通省インフラ長寿命化計画」による影響

経済発展の基盤となる交通・通信・エネルギーなどのライフライン設備の予防保全による老朽化対策を部分横断的に対応すべき事項として挙げている。

また、住宅・建物の耐震化については、令和12年までにほぼ全ての住宅の耐震化を目指しているが、茨城県では近隣の耐震化率よりやや低い状況となっている。

昨今地震・火災による「建築基準法施工令第百二十二条」への影響

建築基準法施工令第百二十二条では、一定規模の建物について、避難階段の設置が義務付けられている。

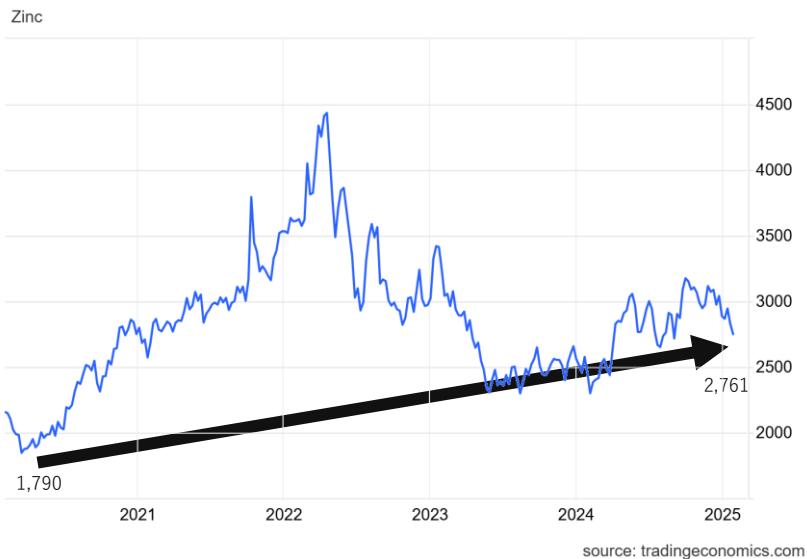
昨今の震災や大規模火災事故などの影響から屋外避難階段への関心が高まっており、屋外避難階段は風雨にさらされることから耐久性を向上させるためのメッキ加工への需要も高い。

長期間に渡る防食効果が継続し、耐久性を向上させる
亜鉛メッキ加工の潜在需要は非常に高い

1-3 原材料の市況

一方で亜鉛の価格は25年で約1.5倍に高騰している。世界各国での需要の増加や、主な輸出国である中国での国内消費の増加による供給量の減少が原因が挙げられる。

亜鉛価格の推移（2020～2025年）



2000年3月

USD 1,790

過去25年間で

1.5倍

2025年2月

USD 2,761

亜鉛市場の概況

- 2024年の世界の亜鉛鉱生産量は3年連続で減少
- 2024年の中国の精製亜鉛は7%減少
- 中国の公式データによると、2025年1月には最大メーカーの生産が予想外に減少したこと
- 世界生産の10%を担う世界最大の亜鉛鉱山・レッドドッグ鉱山は、**2025年に鉱石の枯渇**に近づくため、生産を遅らせる予定
- Trading Economicsのグローバルマクロモデルとアナリストの予測によると、12ヶ月後の亜鉛価格はUSD 3,385と、**現在より23%高い価格**での取引を予想

長期的にも**価格の高騰が継続**する見込み

目次

1. 事業環境	P.04
2. 企業概要	P.08
3. 課題	P.16
4. 再生計画	P.21
Appendix. 財務計画詳細	P.34

2-1 企業概要

当社は亜鉛メッキ加工の専門事業者として創業38年の歴史を誇る。釜の拡張・増設や、検査場・代理店の新設を経て順調に事業を拡大させてきた。

基本情報	
会社名	ABC株式会社
所在地	東京都江東区XXXX1304番地
電話番号	03-1234-5678
資本金	5,000,000円
設立	1987年5月6日
代表取締役	山田 太郎
従業員数	40名
事業内容	溶融亜鉛メッキ、鉄鋼製品の製作加工、組立、運輸、販売

沿革	
1977年	ABCメッキ工業所を設立、小釜寸法拡張
1987年	有限会社AB工業所を設立 中釜寸法増設、小釜寸法拡張
1990年	資材センターとしてXYZ（株）設立 後に鉄骨加工部門として増資
1992年	XXX工場増設、大釜寸法拡張
1998年	製品検査場及び製品滞貨場を新設
2004年	宮城県に東北代理店を開設
2005年	パイプライン専用仕上場及び製品検査場を新設
2011年～2023年	JISマーク表示の認証取得、更新
2025年	ABC株式会社として株式会社化

2-2 納品実績

確かな専門技術を活かした施工で小さな汎用部品から著名な大型建造物や特殊部品まで幅広い納品実績があり、顧客からの高い満足度と信頼を獲得している。

納品実績一例



2-3 取引先企業

大手ハウスメーカー、大手建設会社などの著名企業を筆頭に、関東圏の住宅、建設、機械金属、鉄鋼、電機資材企業を中心に300社以上の取引先がある。

主な取引先



コス
守秘義務のため非公開
鈴木
株式
藤井

約300社

2-4 当社の強み

当社の主な強みは、伝統と新技術が光る確かな技術、大型設備と広大な敷地を活用した処理能力の高さ、とことん顧客ニーズに対応する顧客利便性である。

1

技術力の高さ

様々な要求事項に対応

2

処理能力の高さ

大型設備と広大な敷地を活用

3

顧客利便性の高さ

柔軟、迅速、低コスト

2-5 技術力の高さ

手メッキの技術継承による丁寧な仕上げと、他社が断るような特殊形状・仕様にも対応可能な技術力。防衛省の特殊製品や東京メトロの重要インフラも手掛けている。

手メッキからの技術

創業時からの手メッキの繊細な感性と技術を承継し、クレーンでも再現

「できないとは言わない」

他社から不可能と言われた製品でも当社では工夫して方法を提案

長年の経験

創業以来38年間、様々な製品を加工してきた経験とノウハウを保有

迅速な処理

熟練の職人技術とチームワークで他社が1週間かかる所を1日で対応可能

塗装済製品にも対応

他社が断るような塗装済の製品でも対応可能

溶接済製品にも対応

溶接済の製品でも細部まで漏れなく丁寧に対応可能

特殊仕様にも対応

自衛隊の切れやすい鉄条網などの特殊品にも対応できる技術力

重要インフラの施工実績

東京スカイツリーや東京メトロ等の重要なインフラも手掛けた実績と信頼性

2-6 処理能力の高さ

12mの大型メッキ層を保有しており、2ライン体制で月間300トンの処理能力がある。更に5万m²の広大な敷地を活用し、迅速かつ効率的な処理が可能。

希少な大型設備

月間処理能力300トン

- 12mの大型メッキ層を保有する企業は数えるほどしかないため、大型製品の受注確度は非常に高い。
- 12mとは、トレーラーで積載できる最長の製品や、大型トラック4台満載分の製品を一度に処理できる大きさなため、迅速な処理が可能。

主要設備一覧：

設備	長さ×幅×高さ (mm)	数量
メッキ層	12,300×1,600×2,000	1
脱脂槽	12,300×1,600×2,000	1
水槽	12,000×1,600×2,000	1
塩酸槽	13,000×1,500×1,400	1
〃	8,000×1,500×1,600	2
〃	12,000×2,000×1,700	1
〃	10,000×2,000×1,700	1
フラックス槽	12,300×1,600×2,000	1

広大な敷地を活用

敷地面積

5万 m²

- 大型 トラックでの搬入出が可能で、従業員の車との動線も考慮された広さ。
- 2ライン体制で同時にメッキ加工と検査ができる効率的な生産ラインで、迅速な処理が可能。
- 顧客が製品を保管できるスペースも備えている。

敷地全景：



2-7 顧客利便性の高さ

時間外受入や保管サービスなど対応の柔軟さ、即日施工が完了する納期の速さ、大型トレーラー1往復で済む運送効率の良さなど、顧客利便性が非常に高い。

対応の柔軟さ	時間外受入	早朝6時、または応相談で6時以前でも受け入れ可能
	保管サービス	顧客が先に製品を搬入しておいたり、完了後の製品の保管もできる
	特殊品対応	特殊品、塗装済製品、溶接済製品、他社に断られた製品でも柔軟に検討

納期の速さ	一括処理	大型設備を活用し、まとまった量の一括施工で迅速な処理が可能
	即日完了	高い技術力と処理能力により、通常1週間かかる工程を1日で施工可能
	緊急対応	緊急の案件でも「できないとは言わない」

運送効率の良さ	好アクセス	関東圏の中心に位置し、稻敷東ICから5分とアクセスがよい
	大量輸送	処理能力が高いため、大型トラックやトレーラーで一気に搬出入ができる
	費用削減	同日内に処理が完了するため何度も往復する必要がなく、運送費を削減

目次

1. 事業環境	P.04
2. 企業概要	P.08
3. 課題	P.16
4. 再生計画	P.21
Appendix. 財務計画詳細	P.34

運転資金が不足

設備損傷による売上の急激な減少のため、
3月10日の材料費の支払1,800万円を中心とした運転資金が確保できていない。

3-1 設備損傷

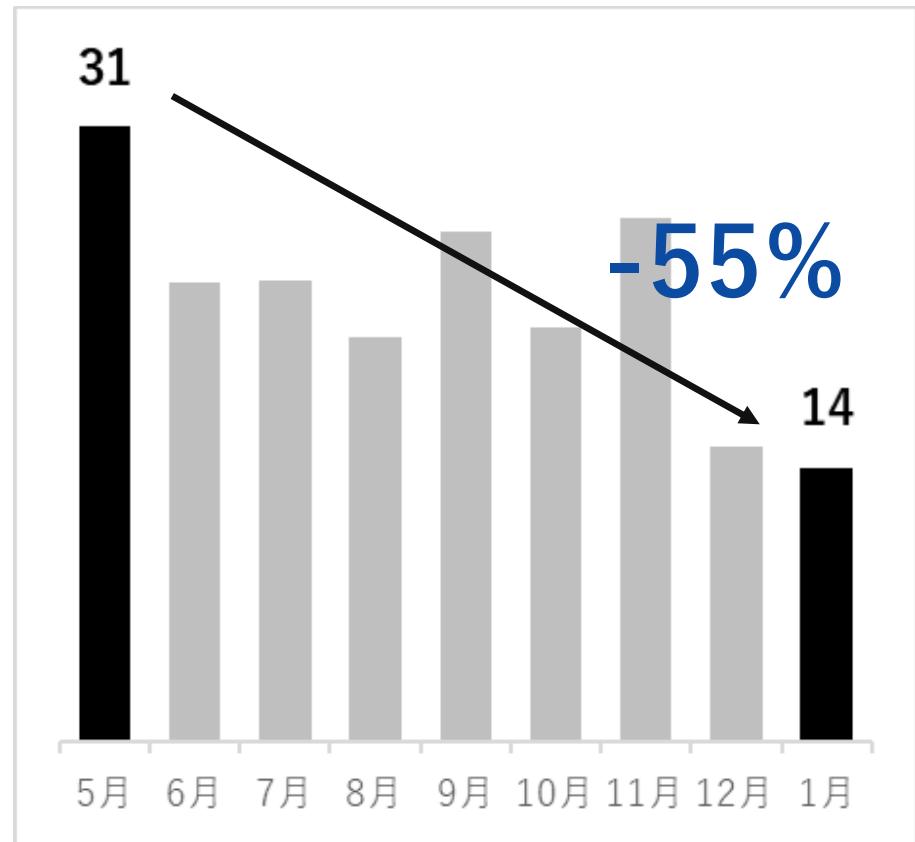
導入から1年経過していない主力設備に亀裂が発生し、亜鉛83百万円分が流出。亀裂のために満足に稼働ができず12月以降の売上は約半分に減少している。

新品の主力設備が損傷



- 2024年10月、主力設備の釜の上部に亀裂が発生。**150トン、83百万円分の亜鉛が流出。**
- 損傷した釜の下部分で受注をこなしたものの、圧倒的に処理力が低下。
- 原因は究明。購入から1年経過していない新品であること、当社が38年間釜を適切に取り扱ってきた実績を鑑みると、**欠陥品の納入**であった可能性が高い。
- 新品であったため保険が適用できず、損失は全額当社が被っている。現在PL法で賠償請求を試みている。
- 回収作業のみでも2か月以上が必要。

直近の月次売上推移



3-2 メッキ層破損の時系列

導入から1年未満の設備の様々な箇所から亜鉛が流出。2月から重機を入れて大掛かりな回収作業を開始している。

2023年10月8～12日 新釜設置、火入れ、亜鉛溶解、メッキ作業開始



2024年10月7日 A2バーナー側より亜鉛流失確認

2024年10月10日 B1バーナー側より亜鉛流失確認

2024年10月29日 B2バーナー側より亜鉛流失確認



2025年1月24日 めっき槽の亜鉛汲み上げ



2025年2月13日 めっき槽を300tラフターで取り出し、横持ち（ラフタ一代3百万円）

2025年2月17日 炉内、炉外亜鉛砕り作業開始（流出亜鉛150トン、83百万円）

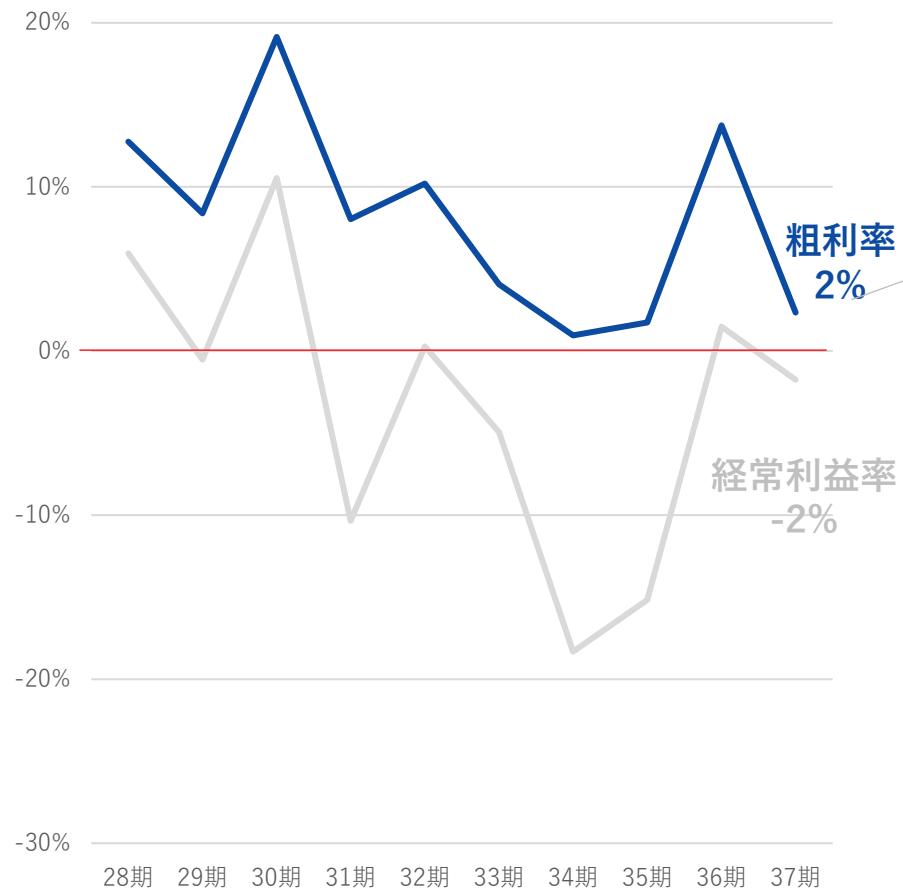
2025年2月18日 リース重機を入れての砕り開始
所要日数は70日以上となる見込



3-3 利益率の低下

更に、原材料の亜鉛の高騰により利益率が低下傾向にある。直近期の材料費は対売上比で42%を占めており、粗利率は2%、経常利益率は-2%となっている。

粗利率及び経常利益率の推移



売上原価構成

	金額(百万円)	%
売上高	343	100%
売上原価、うち		
材料費	144	42%
労務費	80	2%
外注加工費	3	1%
製造経費*	107	31%
粗利	8	2%

* 製造経費のうち、63百万円（18%）は燃料費、18百万円（5%）は減価償却費

目次

1. 事業環境	P.04
2. 企業概要	P.08
3. 課題	P.16
4. 再生計画	P.21
Appendix. 財務計画詳細	P.34

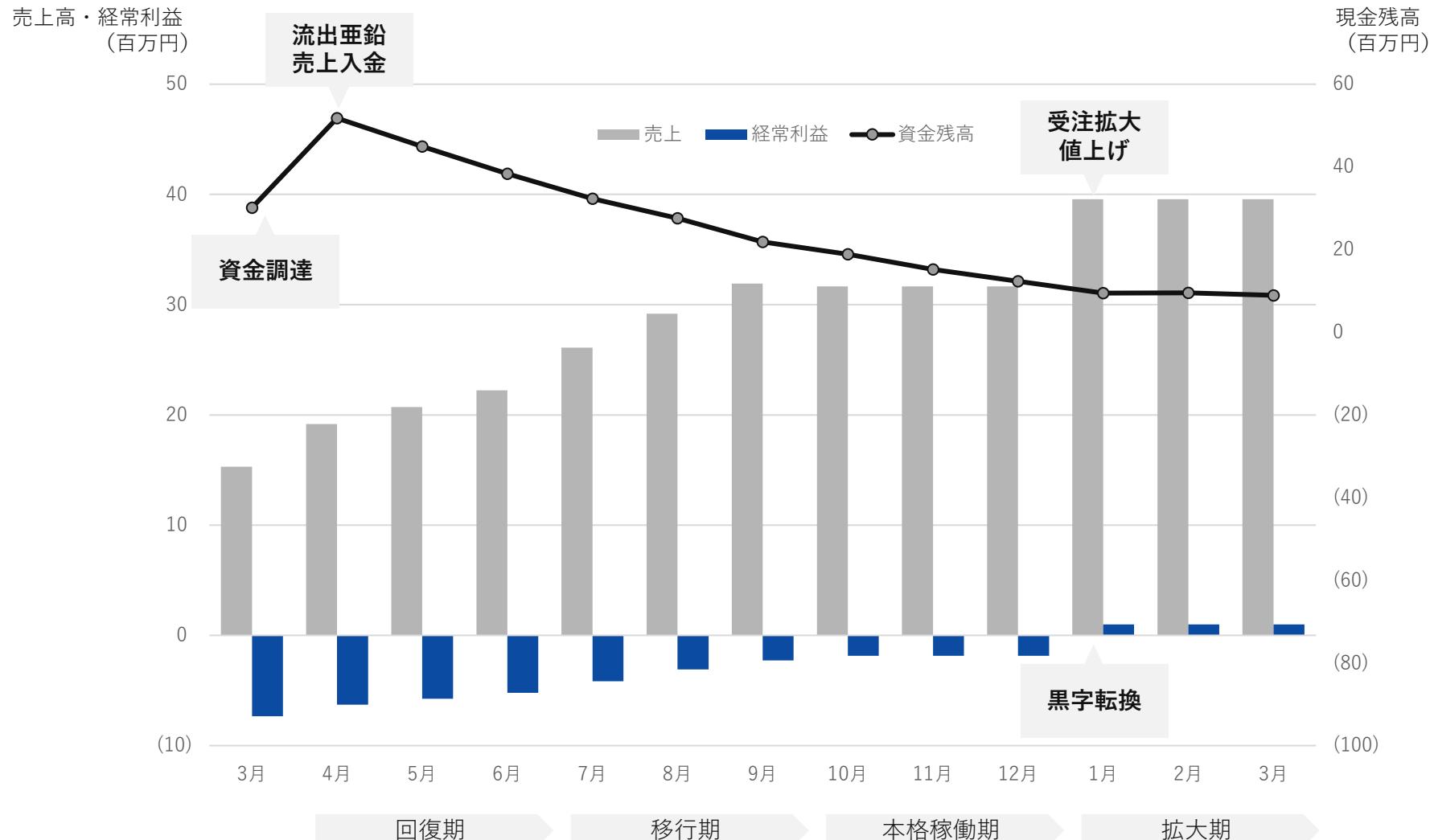
4-1 再生計画概要

まずは資金調達で材料費を支払う。回復期ではスペア設備で売上を70%まで回復させ、移行期で生産設備と体制を増強し、本格稼働期で完全回復と更なる拡大を計画。

	Phase0 直近期	Phase1. 回復期 売上回復度60~70%				Phase2. 移行期 売上回復度70~100%				Phase3. 本格稼働期 売上回復度100%			Phase4. 拡大期 売上高120%		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
設備		スペア設備で操業								新規設備で操業					
		新規設備発注		納入	支払										
営業活動					再開挨拶	営業強化					5%の値上げ実施				
									市場開拓		新規顧客・大型案件の受注				
体制	受入準備	新人研修（OJT）						本格稼働（処理能力4トン向上）							
										次年度採用活動		受入準備			
再生亜鉛事業	流出分の回収売却	通常の回収売却			再生亜鉛製造設備・操業準備	試験生産				本格稼働					
財務	借入材料費支払									借入金返済					
	資本金組入														

4-2 再生計画財務概要

まずは売上の回復と原価率の削減により経常損失を減少させることに注力し、1月からの受注拡大と値上げにより利益が出る体制を構築する。



4-3 Phase1. 直近の対応

流出した亜鉛の回収・売却で収益を得ると共に、銀行から5千万円の資金調達を実施し運転資金に充てる。また役員借入金を資本金に組み替え、債務超過を解消する。

項目	重要度	実施事項	売上高
 設備	中	<ul style="list-style-type: none"> スペアの設備で慎重に操業を継続する。 損傷した設備について、無料で新規設備と交換するよう納入先と交渉する。最悪支払が発生する場合、条件を優遇させる。 	
 営業活動	低	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な営業活動は実施しない。 	
 体制	低	<ul style="list-style-type: none"> 4月から受け入れが決まっている4名の技能実習生の受け入れ準備を実施する。 	
 再生亜鉛事業	中	<ul style="list-style-type: none"> 損傷した設備から流出した亜鉛の回収・売却により3千万円の売上を見込む その他、売却できるスクラップを積極的に回収し、売却する 	
 財務	高	<ul style="list-style-type: none"> 資金調達を実施し、3月10日の原材料費1,800万円を支払う 役員借入金2,500万円を資本金に組み替え、債務超過を解消する 役員報酬を半額に減額 	雑収入 3千万

4-4 Phase1. 直近の対応

2024年12月末時点のBSにおいて、役員借入金を2%10年間で割引計算をして資本金に組み替えると、債務超過が解消され、自己資本比率が1%に向かう試算。

	2025年1月末時点	2025年1月末時点	DESによる影響	2025年1月末時点 (DES後)
流動資産		流動負債		
現金及び預金	9,267,427	買掛金	33,832,823	33,832,823
受取手形		短期借入金	100,000,000	100,000,000
売掛金	15,956,100	未払金	2,855,100	2,855,100
原材料	88,806,626	預かり金	657,527	657,527
貯蔵品	1,765,984	未払法人税等		
前払費用		未払消費税等	19,272,129	19,272,129
仮払金	2,923,462			
未収入金				
貸倒引当金	(270,000)			0
仮払消費税	14,851,011			
計	133,300,610	計	156,617,579	156,617,579
固定資産		固定負債		
有形固定資産		長期借入金	155,900,000	155,900,000
建物	252,706,996	役員借入金	25,153,503	(25,153,503)
建物付属設備	20,426,466			0
構築物	80,926,331			
機械装置	98,503,911			
車両運搬具	15,075,077			
工具器具備品	38,226,563			
減価償却累型学	(388,776,925)	計	181,053,503	(25,153,503)
土地	58,554,581	負債	337,671,082	(25,153,503)
建設仮勘定				312,517,579
リース資産	6,654,000	株主資本		
リース資産減価	(6,654,000)	資本金	5,000,000	20,634,633
計	175,643,000	計	5,000,000	25,634,633
無形資産		利益剰余金		
電話加入権	232,717	利益準備金	1,030,000	1,030,000
計	232,717	繰越利益剰余金	(26,616,380)	(22,097,510)
投資その他の資産		計	(25,586,380)	(21,067,510)
出資金	370,000	計	(20,586,380)	25,153,503
保証金	1,780,000			4,567,123
保険積立金	2,705,060			
長期前払費用	2,508,685			
預託金	44,630			
ゴルフ会員権	500,000			
計	7,908,375			
計	183,784,092			
繰延資産	0			
資産	317,084,702	負債・純資産	317,084,702	0
流動比率	85%	自己資本比率	-6%	1%

4-5 Phase1. 回復期（2025年4～6月）

新規設備を発注し、納入まではスペア設備で操業を継続。4人の増員により処理能力を高め、得意先からの継続受注をこなして売上の60～70%回復を目指す。

項目	重要度	実施事項	売上高
 設備	低	<ul style="list-style-type: none"> スペアの設備で慎重に操業を継続する。 代替の新規設備が納入される。 	
 営業活動	中	<ul style="list-style-type: none"> 営業再開の目途が立ち次第、挨拶回りを実施。速やかに受注ができるよう、見込み案件をストックしておく。 	
 体制	高	<ul style="list-style-type: none"> 4名の技能実習生のOJT研修を実施。OJTといえども即戦力となる仕事が多く、現在より処理能力が約3トン増加する見込み。 	
 再生亜鉛事業	低	<ul style="list-style-type: none"> 通常の操業から出るスクラップを引き続き回収し、売却する 	
 財務	低	<ul style="list-style-type: none"> なし 	

60%～
70%
回復

4-6 Phase2. 移行期（2025年7～9月）

新規設備での稼働を開始。既存取引先への営業活動を強化し、溜まっていた受注の獲得で売上の70～100%回復を目指す。平行して再生亜鉛事業の準備を実施する。

項目	重要度	実施事項	売上高
 設備	高	<ul style="list-style-type: none"> 新規設備での稼働を開始。問題がないか入念に確認しつつ、処理量を増加させていく。 	
 営業活動	中	<ul style="list-style-type: none"> 既存の取引先への営業を強化。 溜まっていた案件を積極的に受注していく。 	
 体制	低	<ul style="list-style-type: none"> 増員した実習生の本格的な稼働が開始。処理能力は現在より約4トン増加する見込み。 	
 再生亜鉛事業	中	<ul style="list-style-type: none"> 再生亜鉛事業を開始すべく、設備やオペレーションの検討を行う。必要に応じて設備を購入する（最大数百万円）。 試験運転を実施し、品質の検査やオペレーションの改善を行う。 	
 財務	低	<ul style="list-style-type: none"> なし 	

70%～
100%
回復

4-7 Phase3. 本格稼働期（2025年10月～12月）

新規設備での本格稼働により売上の完全回復を目指す。再生亜鉛事業で売上原価の約1割を自社生産することにより営業利益を向上させる。

項目	重要度	実施事項	売上高
 設備	中	<ul style="list-style-type: none"> 新規設備が本格的に稼働。 	
 営業活動	中	<ul style="list-style-type: none"> 新規顧客の開拓を実施。 外階段設置の義務化をフックとして、特に大型建造物を優先的に営業する。 	
 体制	低	<ul style="list-style-type: none"> 採用計画を立案し、採用活動を実施。 紹介や受入補助金などを積極的に活用し、採用費用を削減する。 	
 再生亜鉛事業	高	<ul style="list-style-type: none"> 再生亜鉛の生産を本格的に開始。 生産した亜鉛は原材料として活用し、材料費を約10%削減する。 	
 財務	低	<ul style="list-style-type: none"> 借入金の返済を開始 	

100%
回復

4-8 Phase3. 本格稼働期（2025年10～12月）再生亜鉛事業とは

再生亜鉛事業にて、亜鉛メッキの加工時に生成される灰やドロスを回収・処理し、自社にて再利用可能な亜鉛を生成することにより、購入する亜鉛の量を削減する。

再生亜鉛事業とは

浮遊灰及び浮遊ドロスから遊離亜鉛を分離し、回収再生するオペレーション。**回収された亜鉛は再利用や製品としての流通にも適切**である。

現在は浮遊灰や浮遊ドロスを回収し、スクラップとして回収業者に低価格で販売しているが、これにより自社で再生亜鉛を生成できるようになる。

再生装置 MZR1500 概要

販売企業	株式会社XYZ
熱源	赤外線、天然ガス、プロパンガス
最大容量	1,500kg/サイクル
外寸	3.56 x 2.27 x 3.43 m
消費電力	3kw25amp
サイクル時間	2.5～5.5時間

再生亜鉛事業のメリット



4-9 Phase4. 拡大期（2026年1月～）

新規顧客の開拓や利益率の高い大型案件の積極的受注を行い、5年後には売上高〇円、営業利益〇円まで事業を拡大する。売上の増加に伴い〇名の人員を増員する。

項目	重要度	実施事項	売上高
 設備	中	<ul style="list-style-type: none"> 新規設備による稼働を最大化させていく。 	
 営業活動	高	<ul style="list-style-type: none"> 新規顧客の開拓や大型案件の受注を積極的に実施。 契約を見直し、採算があわない案件については値上げを実施する。 	
 体制	中	<ul style="list-style-type: none"> 受注の増加に合わせて増員を実施していく。 	
 再生亜鉛事業	低	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き材料としての再生亜鉛の生産を継続（販売目的ではない）。 	
 財務	低	<ul style="list-style-type: none"> 借入金の返済を継続 	

120%
回復

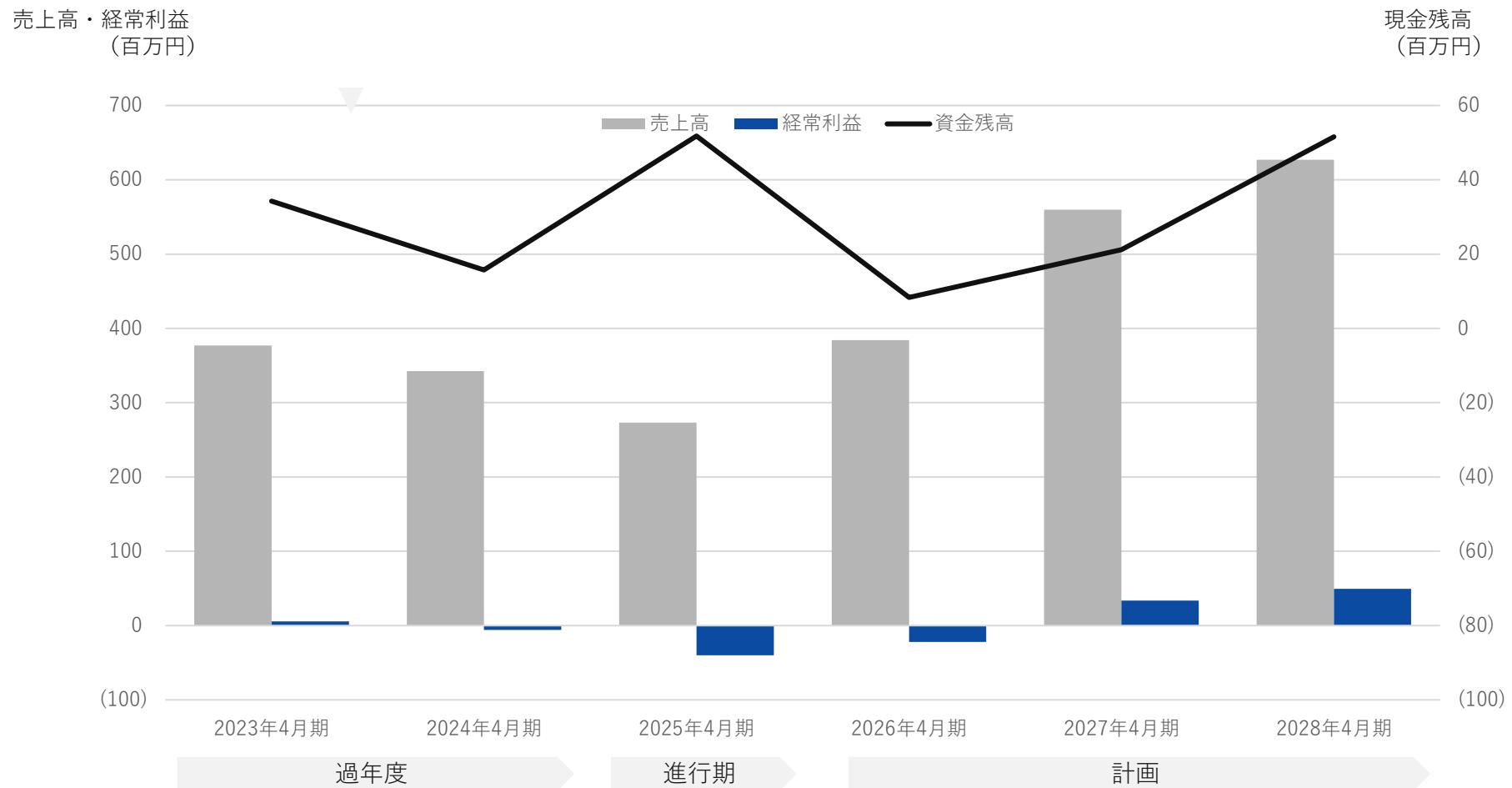
4-10 Phase4. 拡大期（2026年1月～）

現時点でも既に見込顧客と具体的な案件が多数存在しており、合計売上高は69百万円と想定される。これら以外にも営業を実施していくため、事業拡大の確度は高い。

顧客名	内容	容量	金額（百万円）
守秘義務のため非公開	H鋼他	100トン	10.0
	自衛隊向け蛇腹鉄線	1,000ロール	9.8
	H鋼他	100トン	8.3
	支柱、支柱ベース	50トン	5.8
	H鋼他	60トン	5.0
	パイプ	30トン	4.5
	パイプ、架台	30トン	4.5
	支柱、横材他	30トン	4.2
	D棒	55トン	4.0
	歩廊他	30トン	3.9
	ブーム	20トン	2.4
	H鋼他	20トン	1.9
	H鋼他	20トン	1.7
	トラス	20トン	1.7
	架台他	20トン	1.6
合計			69.2

4-11 年次財務計画概要

進行期は大きな打撃を受けてしまったが、来年度は売上高を回復させ、再来年度からは売上の拡大と利益が出る体質に変革していく。



4-12 資金調達のお願い

当面2か月分の材料費、人件費、その他製造原価を補うため、5,000万円の資金調達を実施したく、何卒ご協力宜しくお願い致します。

資金使途	調達方法	
設備投資	0	借入金 50,000,000
運転資金		
材料費	24,998,574	
人件費	14,490,062	
その他製造原価	9,108,764	
その他	1,402,600	
計	50,000,000	計 50,000,000
合計	50,000,000	50,000,000

目次

1. 事業環境	P.04
2. 企業概要	P.08
3. 課題	P.16
4. 再生計画	P.21
Appendix. 財務計画詳細	P.34

進行期損益計画 (~粗利まで)

基準売上高	30,000,000								
1人当たり売上高	400,000								
2024年12月累計									
金額 対売上比									
売上高									
基準売上高									
売上回復・増加率						50%	50%	50%	60%
増加人数(対2024年12月比)						0	0	0	2
値上げ率						0%	0%	0%	0%
売上高	186,602,169	89.7%			15,000,000	15,000,000	15,000,000	18,800,000	250,402,169
ドロス									
対売上高比						2%	2%	2%	2%
ドロス売上	21,541,959				300,000	300,000	300,000	376,000	22,817,959
売上値引き戻り高	(40,510)	0.0%			0				
計	208,103,618				15,300,000	15,300,000	15,300,000	19,176,000	273,220,128
売上原価									
材料費									
材料費					40%	6,000,000	6,000,000	6,000,000	7,520,000
材料の値上がり率						0%	0%	0%	0%
再生亜鉛事業による削減効果						0%	0%	0%	0%
計	62,010,910	29.8%			6,000,000	6,000,000	6,000,000	7,520,000	87,530,910
労務費									
人員			1人当たり人件費		150,000	38	38	38	40
計	43,648,307	21.0%			5,700,000	5,700,000	5,700,000	6,000,000	66,748,307
外注加工費									
計	2,590,180	1.2%	対加工売上比	1%	186,699	186,699	186,699	233,996	3,384,272
製造経費									
電力費	4,303,017	2.1%	対加工売上比		2.3%	345,898	345,898	345,898	433,525
消耗品費	5,458,016	2.6%	月額		682,252	682,252	682,252	682,252	8,187,024
旅費交通費	210,136	0.1%	月額		26,267	26,267	26,267	26,267	315,204
減価償却費	12,000,000	5.8%	月額		1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	18,000,000
修繕費	2,535,101	1.2%	対加工売上比		1.4%	203,784	203,784	203,784	255,409
賃借料	1,561,600	0.8%	月額		195,200	195,200	195,200	195,200	2,342,400
車両費	50,600	0.0%	対加工売上比		0.0%	4,067	4,067	4,067	5,098
燃料費	37,907,552	18.2%	対加工売上比		20.3%	3,047,195	3,047,195	3,047,195	3,819,152
製造雑費	397,750	0.2%	月額		49,719	49,719	49,719	49,719	596,625
計	64,423,772	31.0%			6,054,382	6,054,382	6,054,382	6,966,621	89,553,540
計	172,673,169	83.0%			17,941,081	17,941,081	17,941,081	20,720,617	247,217,029
売上総利益	35,430,449	17.0%			-2,641,081	-2,641,081	-2,641,081	-1,544,617	26,003,099

進行期損益計画

		2024年12月累計 金額 対売上比		2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年4月期 見込
売上高	計	208,103,618		15,300,000	15,300,000	15,300,000	19,176,000	273,220,128
売上原価				17,941,081	17,941,081	17,941,081	20,720,617	247,217,029
売上総利益	計	172,673,169	83.0%	-2,641,081	-2,641,081	-2,641,081	-1,544,617	26,003,099
販管費								
	役員報酬	12,000,000	5.8% 月額	750,000	750,000	750,000	750,000	15,000,000
	給料手当	4,740,598	2.3% 月額	592,575	592,575	592,575	592,575	7,110,897
	法定福利費	1,659,406	0.8% 給与比	10%	133,082	133,082	133,082	2,191,735
	厚生費	865,026	0.4% 給与比	5%	69,374	69,374	69,374	1,142,522
	保険料	4,375,752	2.1% 対加工売上比	546,969	546,969	546,969	546,969	6,563,628
	荷造り運賃	2,510,991	1.2% 対加工売上比	1.3%	201,846	201,846	201,846	252,980
	地代家賃	2,040,000	1.0% 月額	255,000	255,000	255,000	255,000	3,060,000
	賃借料	1,541,803	0.7% 月額	192,725	192,725	192,725	192,725	2,312,705
	管理費	2,525,950	1.2% 月額	315,744	315,744	315,744	315,744	3,788,925
	減価償却費	2,000,000	1.0% 月額	250,000	250,000	250,000	250,000	3,000,000
	広告宣伝費	1,211,736	0.6% 月額	151,467	151,467	151,467	151,467	1,817,604
	車両費	1,738,233	0.8% 対加工売上比	0.9%	139,728	139,728	139,728	175,125
	その他		0.0% 月額	805,522	805,522	805,522	805,522	3,222,089
	計	43,653,672	21%		4,404,032	4,404,032	4,404,032	4,490,564
営業利益	(8,223,223)	-4%			(7,045,113)	(7,045,113)	(7,045,113)	(6,035,181)
営業利益率		-4% #####			-46%	-46%	-46%	-31%
営業外利益								
	受取利息	30,202	0.0% 月額	0	0	0	0	30,202
	受取配当金	955	0.0% 月額	100	100	100	100	1,355
	スクラップ売上		対加工売上比	1%	150,000	150,000	150,000	188,000
			再生亜鉛事業での削減率	0%	0%	0%	0%	638,000
	雑収入	4,895,319	2.4%		150,000	150,000	150,000	188,000
	計	4,926,476	2.4%		150,100	150,100	150,100	188,100
営業外費用								
	支払利息	3,420,561	1.6% 利率	1.6%	350,515	350,515	350,515	346,744
	手形売却損	221,009	0.1% 月額	0	0	0	0	221,009
	支払保証料	0	0.0% 月額	0	0	0	0	0
	雑損失	0	0.0% 月額	0	0	0	0	0
	支払利息（新規借入金）		利率	2.0%	0	0	83,333	83,333
	計	3,641,570	1.7%		350,515	350,515	433,848	430,078
経常利益	(6,938,317)	-3.3%			(7,245,528)	(7,245,528)	(7,328,861)	(6,277,159)
特別利益								
	貸倒引当金戻入益	0	0.0%		0	0	0	0
	固定資産売却益	70,541	0.0%		0	0	0	70,541
	流出亜鉛売却益		0.0%				30,000,000	30,000,000
	債務消滅益		0.0%				4,518,870	4,518,870
	計	70,541	0.0%		0	0	34,518,870	0
特別損失								
	固定資産除売却損		0.0%				24,483,624	24,483,624
	事故損失		0.0%				83,000,000	83,000,000
	計	0	0.0%		0	0	107,483,624	0
税引前当期純利益	(6,867,776)	-3.3%			(7,245,528)	(7,245,528)	(80,293,616)	(6,277,159) (112,752,858)

進行期月次キャッシュフロー

				2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月
営業活動							
収入							
	翌月末入金売上高	割合	88%		13,475,049	13,475,049	13,475,049
	翌々月末入金売上高	割合	12%		2,201,654	1,824,951	1,824,951
	スクラップ売上高 (流出分含む)				150,000	150,000	30,150,000
	計				15,826,704	15,450,000	45,450,000
支出							
	材料費		翌々月末払		18,998,574	6,000,000	6,000,000
	売上原価 (材料費・減価償却費除く)		翌月払		10,441,081	10,441,081	10,441,081
	販管費 (減価償却費除く)		翌月払		4,154,032	4,154,032	4,154,032
	法人税		翌月払				
	計				33,593,687	20,595,113	20,595,113
営業CF							
財務活動							
収入							
	新規借入				50,000,000	50,000,000	
	受取利息・配当金		当月払		100	100	100
	計				50,000,100	50,000,100	100
支出							
	支払利息 (既存借入金)		当月払		350,515	350,515	346,744
	支払利息 (新規借入金)		当月払		0	83,333	83,333
	借入金返済 (既存)	2,753,000			0	2,753,000	2,753,000
	借入金返済 (新規)		595,238				
	計				350,515	3,186,848	3,183,078
財務CF							
投資活動							
支出							
	新規設備交換						
	MZR1500購入費						
	計				0	0	0
投資CF							
CF							
				31,882,602	41,668,139	21,671,910	
現預金残高							
				9,267,427	41,150,029	82,818,167	104,490,077
借入金残高							
	既存			255,900,000	255,900,000	253,147,000	250,394,000
	新規				50,000,000	50,000,000	50,000,000

次年度月次損益計画（粗利まで）

基準売上高	30,000,000													
1人当たり売上高	400,000													
	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2026年1月	2026年2月	2026年3月	2026年4月	2026年5月	金額
売上高														
基準売上高														
売上回復・増加率	65%	70%	80%	90%	100%	100%	100%	100%	120%	120%	120%	120%	120%	
増加人数（対2024年）	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	
値上げ率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	5%	5%	5%	5%	
売上高	20,300,000	21,800,000	25,600,000	28,600,000	31,600,000	31,600,000	31,600,000	31,600,000	39,480,000	39,480,000	39,480,000	40,320,000	381,460,000	
ドロス														
対売上高比	2%	2%	2%	2%	1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	
ドロス売上	406,000	436,000	512,000	572,000	316,000	63,200	63,200	63,200	78,960	78,960	78,960	80,640	2,749,120	
売上値引き戻り高														0
計	20,706,000	22,236,000	26,112,000	29,172,000	31,916,000	31,663,200	31,663,200	31,663,200	39,558,960	39,558,960	39,558,960	40,400,640	384,209,120	
売上原価														
材料費														
材料費	8,120,000	8,720,000	10,240,000	11,440,000	12,640,000	12,640,000	12,640,000	12,640,000	15,792,000	15,792,000	15,792,000	16,128,000		
材料の値上がり率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
再生亜鉛事業による	0%	0%	0%	0%	-1%	-8%	-8%	-8%	-8%	-8%	-8%	-8%	-8%	
計	8,120,000	8,720,000	10,240,000	11,440,000	12,513,600	11,628,800	11,628,800	11,628,800	14,528,640	14,528,640	14,528,640	14,837,760	144,343,680	
労務費														
人員	40	40	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	44	
計	6,000,000	6,000,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,300,000	6,600,000	75,300,000	
外注加工費														
計	252,666	271,336	318,633	355,972	393,312	393,312	393,312	393,312	491,391	491,391	491,391	501,846	4,747,875	
製造経費														
電力費	468,115	502,705	590,332	659,512	728,691	728,691	728,691	728,691	910,403	910,403	910,403	929,773	8,796,408	
消耗品費	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	682,252	8,187,024
旅費交通費	26,267	26,267	26,267	26,267	26,267	26,267	26,267	26,267	26,267	26,267	26,267	26,267	315,204	
減価償却費	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	18,000,000	
修繕費	275,788	296,166	347,791	388,548	429,305	429,305	429,305	429,305	536,359	536,359	536,359	547,771	5,182,360	
賃借料	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	195,200	2,342,400	
車両費	5,505	5,911	6,942	7,755	8,569	8,569	8,569	8,569	10,706	10,706	10,706	10,933	103,439	
燃料費	4,123,871	4,428,591	5,200,547	5,809,986	6,419,425	6,419,425	6,419,425	6,419,425	8,020,218	8,020,218	8,020,218	8,190,861	77,492,212	
製造雑費	49,719	49,719	49,719	49,719	49,719	49,719	49,719	49,719	49,719	49,719	49,719	49,719	596,625	
計	7,326,716	7,686,810	8,599,050	9,319,239	10,039,427	10,039,427	10,039,427	10,039,427	11,931,124	11,931,124	11,931,124	12,132,777	121,015,672	
計	21,699,382	22,678,146	25,457,682	27,415,211	29,246,340	28,361,540	28,361,540	28,361,540	33,251,155	33,251,155	33,251,155	34,072,383	345,407,227	
売上総利益	-993,382	-442,146	654,318	1,756,789	2,669,660	3,301,660	3,301,660	3,301,660	6,307,805	6,307,805	6,307,805	6,328,257	38,801,893	

次年度月次損益計画

	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2026年1月	2026年2月	2026年3月	2026年4月	2026年4月期 金額
売上高 計	20,706,000	22,236,000	26,112,000	29,172,000	31,916,000	31,663,200	31,663,200	31,663,200	39,558,960	39,558,960	39,558,960	40,400,640	384,209,120
売上原価													
計	21,699,382	22,678,146	25,457,682	27,415,211	29,246,340	28,361,540	28,361,540	28,361,540	33,251,155	33,251,155	33,251,155	34,072,383	345,407,227
売上総利益	-993,382	-442,146	654,318	1,756,789	2,669,660	3,301,660	3,301,660	3,301,660	6,307,805	6,307,805	6,307,805	6,328,257	38,801,893
販管費													
役員報酬	750,000	750,000	750,000	750,000	750,000	750,000	750,000	750,000	750,000	750,000	750,000	750,000	9,000,000
給料手当	592,575	592,575	592,575	592,575	592,575	592,575	592,575	592,575	592,575	592,575	592,575	592,575	7,110,897
法定福利費	133,082	133,082	133,082	133,082	133,082	133,082	133,082	133,082	133,082	133,082	133,082	133,082	1,596,987
厚生費	69,374	69,374	69,374	69,374	69,374	69,374	69,374	69,374	69,374	69,374	69,374	69,374	832,488
保険料	546,969	546,969	546,969	546,969	546,969	546,969	546,969	546,969	546,969	546,969	546,969	546,969	6,563,628
荷造り運賃	273,165	293,349	344,484	384,853	425,222	425,222	425,222	425,222	531,258	531,258	531,258	542,562	5,133,073
地代家賃	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	3,060,000
賃借料	192,725	192,725	192,725	192,725	192,725	192,725	192,725	192,725	192,725	192,725	192,725	192,725	2,312,705
管理費	315,744	315,744	315,744	315,744	315,744	315,744	315,744	315,744	315,744	315,744	315,744	315,744	3,788,925
減価償却費	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	3,000,000
広告宣伝費	151,467	151,467	151,467	151,467	151,467	151,467	151,467	151,467	151,467	151,467	151,467	151,467	1,817,604
車両費	189,098	203,071	238,469	266,414	294,360	294,360	294,360	294,360	367,763	367,763	367,763	375,588	3,553,369
その他	805,522	805,522	805,522	805,522	805,522	805,522	805,522	805,522	805,522	805,522	805,522	805,522	9,666,266
計	4,524,721	4,558,878	4,645,410	4,713,725	4,782,040	4,782,040	4,782,040	4,782,040	4,961,480	4,961,480	4,961,480	4,980,608	57,435,941
営業利益	(5,518,103)	(5,001,024)	(3,991,093)	(2,956,936)	(2,112,379)	(1,480,379)	(1,480,379)	(1,480,379)	1,346,325	1,346,325	1,346,325	1,347,649	(18,634,049)
営業利益率	-27%	-22%	-15%	-10%	-7%	-5%	-5%	-5%	3%	3%	3%	3%	-5%
営業外利益													
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取配当金	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200
スクラップ売上	203,000	218,000	256,000	286,000	316,000	316,000	316,000	316,000	394,800	394,800	394,800	403,200	3,814,600
0%	0%	0%	0%	20%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	
雑収入	203,000	218,000	256,000	286,000	252,800	31,600	31,600	31,600	39,480	39,480	39,480	40,320	1,469,360
計	203,100	218,100	256,100	286,100	252,900	31,700	31,700	31,700	39,580	39,580	39,580	40,420	1,470,560
営業外費用													
支払利息	342,973	339,202	335,432	331,661	327,890	324,119	320,348	316,577	312,806	309,035	305,265	301,494	3,866,802
手形売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払保証料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息（新規借入）	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	82,341	81,349	997,024
計	426,307	422,536	418,765	414,994	411,223	407,452	403,681	399,911	396,140	392,369	387,606	382,843	4,863,826
経常利益	(5,741,309)	(5,205,460)	(4,153,758)	(3,085,830)	(2,270,703)	(1,856,132)	(1,852,361)	(1,848,590)	989,766	993,537	998,300	1,005,226	-22,027,315
特別利益													
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流出重宝売却益													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失													
固定資産除売却損													0
事故損失													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	(5,741,309)	(5,205,460)	(4,153,758)	(3,085,830)	(2,270,703)	(1,856,132)	(1,852,361)	(1,848,590)	989,766	993,537	998,300	1,005,226	(22,027,315)

次年度月次キャッシュフロー

		2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2026年1月	2026年2月	2026年3月	2026年4月
営業活動													
収入													
翌月末入金売上高 割合	88%	16,888,729	18,236,234	19,583,739	22,997,418	25,692,428	28,109,129	27,886,483	27,886,483	27,886,483	34,840,454	34,840,454	34,840,454
翌々月末入金売上高 割合	12%	1,824,951	2,287,271	2,469,766	2,652,261	3,114,582	3,479,572	3,806,871	3,776,717	3,776,717	3,776,717	4,718,506	4,718,506
スクラップ売上高 (流出分含む)		188,000	203,000	218,000	256,000	286,000	252,800	31,600	31,600	31,600	39,480	39,480	39,480
計		18,901,679	20,726,505	22,271,505	25,905,679	29,093,010	31,841,502	31,724,953	31,694,800	31,694,800	38,656,651	39,598,440	39,598,440
支出													
材料費		翌々月末払	6,000,000	7,520,000	8,120,000	8,720,000	10,240,000	11,440,000	12,513,600	11,628,800	11,628,800	11,628,800	14,528,640
売上原価 (材料費・減価償却費除く)		翌月払	11,700,617	12,079,382	12,458,146	13,717,682	14,475,211	15,232,740	15,232,740	15,232,740	17,222,515	17,222,515	17,222,515
販管費 (減価償却除く)		翌月払	4,240,564	4,274,721	4,308,878	4,395,410	4,463,725	4,532,040	4,532,040	4,532,040	4,711,480	4,711,480	4,711,480
法人税		翌月払											
計		21,941,181	23,874,103	24,887,024	26,833,093	29,178,936	31,204,779	32,278,379	31,393,579	31,393,579	33,562,795	36,462,635	36,462,635
當業CF		-3,039,502	-3,147,598	-2,615,519	-927,414	-85,926	636,722	-553,426	301,221	301,221	5,093,856	3,135,805	3,135,805
財務活動													
収入													
新規借入													
受取利息・配当金		当月払	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
計		100											
支出													
支払利息 (既存借入金)		当月払	342,973	339,202	335,432	331,661	327,890	324,119	320,348	316,577	312,806	309,035	305,265
支払利息 (新規借入金)		当月払	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	83,333	82,341
借入金返済 (既存)		2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000	2,753,000
借入金返済 (新規)		595,238									595,238	595,238	595,238
計		3,179,307	3,175,536	3,171,765	3,167,994	3,164,223	3,160,452	3,156,681	3,152,911	3,149,140	3,740,607	3,735,844	3,731,081
財務CF		-3,179,207	-3,175,436	-3,171,665	-3,167,894	-3,164,123	-3,160,352	-3,156,581	-3,152,811	-3,149,040	-3,740,507	-3,735,744	-3,730,981
投資活動													
支出													
新規設備交換													
MZR1500購入費							2,000,000						
計		0	0	0	0	2,000,000	0						
投資CF		0	0	0	0	-2,000,000	0						
CF		-6,218,709	-6,323,034	-5,787,184	-4,095,308	-5,250,049	-2,523,630	-3,710,007	-2,851,590	-2,847,819	1,353,349	-599,939	-595,176
現預金残高		98,271,368	91,948,335	86,161,150	82,065,843	76,815,793	74,292,163	70,582,156	67,730,566	64,882,747	66,236,096	65,636,158	65,040,982
借入金残高													
既存		247,641,000	244,888,000	242,135,000	239,382,000	236,629,000	233,876,000	231,123,000	228,370,000	225,617,000	222,864,000	220,111,000	217,358,000
新規		50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	49,404,762	48,809,524	48,214,286

年次損益計画

	2025年4月期 見込	2026年4月期 計画	2027年4月期 計画	2028年4月期 計画
売上高				
売上高	250,402,169	381,460,000	558,600,000	625,800,000
ドロス				
ドロス売上	22,817,959	2,749,120	1,117,200	1,251,600
売上高 計	273,220,128	384,209,120	559,717,200	627,051,600
売上原価				
材料費				
計	87,530,910	144,343,680	209,676,096	234,900,288
労務費				
計	66,748,307	75,300,000	82,500,000	89,400,000
外注加工費				
計	3,384,272	4,747,875	6,952,664	7,789,075
製造経費				
計	89,553,540	121,015,672	163,540,425	179,672,657
販管費				
役員報酬	15,000,000	9,000,000	9,000,000	9,000,000
給料手当	7,110,897	7,110,897	7,110,897	7,110,897
法定福利費	2,191,735	1,596,987	1,596,987	1,596,987
厚生費	1,142,522	832,488	832,488	832,488
保険料	6,563,628	6,563,628	6,563,628	6,563,628
荷造り運賃	3,369,508	5,133,073	7,516,738	8,421,007
地代家賃	3,060,000	3,060,000	3,060,000	3,060,000
賃借料	2,312,705	2,312,705	2,312,705	2,312,705
管理費	3,788,925	3,788,925	3,788,925	3,788,925
減価償却費	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
広告宣伝費	1,817,604	1,817,604	1,817,604	1,817,604
車両費	2,332,542	3,553,369	5,203,460	5,829,440
その他	3,222,089	9,666,266	9,666,266	9,666,266
計	61,356,331	57,435,941	61,469,697	62,999,946
営業利益	(35,353,233)	(18,634,049)	35,578,318	52,289,634
営業利益率	-13%	-5%	6%	8%
営業外利益				
受取利息	30,202	0	0	0
受取配当金	1,355	1,200	1,200	1,200
スクラップ売上	638,000	3,814,600	5,586,000	6,258,000
雑収入	669,557	1,469,360	2,425,815	625,800
計	701,114	1,470,560	2,427,015	627,000
営業外費用				
支払利息	4,818,851	3,866,802	3,323,796	2,780,789
手形売却損	221,009	0	0	0
支払保証料	0	0	0	0
雑損失	0	0	0	0
支払利息（新規借入	166,667	997,024	898,810	755,952
計	5,206,526	4,863,826	4,222,605	3,536,741
経常利益	(39,858,645)	-22,027,315	33,782,728	49,379,893
特別利益				
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0
固定資産売却益	70,541	0	0	0
流出垂鉛売却益	30,000,000	0	0	0
債務消滅益	4,518,870	0	0	0
計	34,589,411	0	0	0
特別損失				
固定資産除売却損	24,483,624	0	0	0
事故損失	83,000,000	0	0	0
計	107,483,624	0	0	0
税引前当期純利益	(112,752,858)	(22,027,315)	33,782,728	49,379,893

ABC
CORPORATION